

【01】

「で？ この世風さまをどうしようって？」

私、葉桜^{はざくらセナ}世風の股から滴り落ちる白濁の液体は、真下で腰を抜かしている男が出したものだ。

科学の発達により性行為がほぼノーリスクで出来るようになった時代だが、それによりもたらされた影響は良いものばかりではない。

思春期の男女の間でメジャーな娯楽となった性行為は、勝負事にも用いられるようになっていた。

「ひいいッ！ すんません！ 俺はボスに言われてアンタを襲^{なかとよ}いにきただけなんですッ！」

私との性勝負に負けた男が腰を抜かした姿勢のまま、情けない^{なかとよ}声で言う。
彼が着ているライトグリーンの制服は隣町にある男子校——『永豊工業』のもの。

かつては工業校の名門と呼ばれていたらしいが性勝負が流行ってからは見る影もなくなった不良校。

そして私が仕切る『双^{そうきよう}嬌女学院』と長年抗争を続けている学校だ。
なるほどね。遂にウチの学校を潰しに来たってワケか。

「永豊のボスカ。私を満足させられる男だといいけど♡」

首元まで届く髪を揺らしながら、私はその場を後にする。
目指すは永豊工業。

[→3へ](#)

【 0 2 】

「うぎゃあああーっ！！」

その瞬間、私はトラックに轢かれた。派手なデコトラだッ。

なぜ轢かれたかって？

ジャンプを使わなかったからだ。

私はジャンプを使わなかったことを後悔しながら天へ昇っていくのだった…
…。

・ 最初から (1へ)

【03】

「困った……」

意気揚々と歩き出したはいいが、私は極度の方向音痴だった。
永豊工業ってどこにあるんだっけ。そもそもここはどこ？

隣町にあるということだけは分かるが、東西南北のどちらへ進めばいいのだ。
こうなったら四分の一の確率に賭けるか……？

「おい、テメェ！ 双嬌の葉桜世風だな！ ちょっとツラ貸せや！」

お。丁度いいところに永豊の刺客。
アイツを倒して学校の場所を吐かせるとしよう。

【世風：理性100】

・手コキを仕掛ける

[→4へ](#)

・騎乗位を仕掛ける

[→5へ](#)

【 0 4 】

私は素早く男の背後へと回り込み、下着ごとズボンを下ろした。

性勝負が流行したせいかベルトを着用している男性は滅多にいない。やりやすく助かるね。

「はい捕まえた」

「おわっ、離せっ！」

手の中に収まるくらい貧相なおちんちんを掴み、上下に激しく扱き立てる。

ついでに耳元に息を吹きかけてやった。もう男は息も絶え絶えの様子だ。

さてどう料理してやろうか。

- ・このまま容赦なく射精させる

[→7へ](#)

- ・永豊の場所を吐かせる

→12へ（体験版では選べません）

【 0 5 】

やっぱ性勝負の花形って言ったら本番だよね。

目の前の男を押し倒し、馬乗りの体勢のままお互いの局部を露出させる。
相手のおちんちんは既に硬くなっていた。つまり準備万端。

「まっ、待ってくれ！」

怖気づいた男がなにか言ってるが無視。待てと言われて待つ女はいない。
勢いをつけて腰を下ろす。んっ♡ 入ってきたっ♡

【世風：理性90】 -10

「ぎゃあああっあああああ！！」

「え」

すると男は即座に射精し動かなくなった。

三擦り半どころか一擦りもしてないんだけど！？

[→6へ](#)

【06】

しかも永豊の場所を吐かせることも出来なかった。
男は白目を剥いて倒れたまま、しばらくは起きそうにない。
こ、この早漏野郎……！

「最悪……」

何も分からないままだけど、とにかく進むしかない。
さあどうしようか。

【世風：理性90】

・交番で道を聞く

[→9へ](#)

・勘を頼りに進む

→13へ（体験版では選べません）

【07】

おちんちんを扱う速度を上げる。
この私に逆らったことをうんと後悔させてやろう。

「ま、待って！ 待ってくれ！！」

怖気づいた男がなにか言ってるが無視。待てと言われて待つ女はいない。
手に握っているものがどんどん熱さを増し、ビクビクと脈打ち始める。そろそろか。

「ほーら、射精しなっ♡」

私がそう言うと同時に、男は大きく身体を震わせた。
下半身から飛び出した白い液体がアスファルトに落ちていく。
やれやれ。この程度の責めも耐えられないようじゃ世風さまの相手ではないね。

「って！」

しまった！
永豊の場所を聞き出すのを忘れてた……！
男は白目を剥いて気絶し、しばらくは起きそうにない。

[→8へ](#)

【 0 8 】

とほほ、仕方ない。

過ぎたことを悔やんでも仕方ないし、失敗は忘れるとしよう。うん。

さてどうするかだが……。

- ・ 交番で道を聞く

[→19へ](#)

- ・ 勘を頼りに進む

→22へ（体験版では選べません）

【09】

車道を挟んだ反対側には交番があった。
道が分からないならあそこで聞けばいいんだ！
私って天才！

でも交番の前で立っている警官。
さっきからずっとこっちを見ているような……？

・嫌な予感がするので逃げる
→15へ（体験版では選べません）

・交番へ行く
→10へ

【10】

「貴様ッ！　そこで猥褻行為をしていたなッ！」

しまったあああ！

性行為は娯楽化してるんだけど、容認されてるワケではなかった！
道のど真ん中でえっちしてたら捕まるに決まってる！
初歩的なことを忘れていたッ。

「ま、待ってください。これはほんの出来心で」

「んな言い訳が通用すると思うか！」

ごもっともだ！

「逮捕する！」

【世風：理性90】

・逮捕される

[→14へ](#)

・抵抗する

[→18へ](#)

【 1 1 】

「貴様ッ！　そこで猥褻行為をしていたなッ！」

しまったあああ！

性行為は娯楽化してるんだけど、容認されてるワケではなかった！
道のど真ん中でえっちしてたら捕まるに決まってる！
初歩的なことを忘れていたッ。

「ま、待ってください。これはほんの出来心で」

「んな言い訳が通用すると思うか！」

ごもっともだ！

「逮捕する！」

【世風：理性100】

・逮捕される

[→14へ](#)

・抵抗する

[→17へ](#)

【 1 2 】

体験版では読めません。

【 1 3 】

体験版では読めません。

【 1 4 】

「確保！！」

ひiiiiiiiiッん！？♡♡♡

ズブッ♡という音と同時に私のおまんこに衝撃が走った。

特殊警棒をぶち込まれたのだっ♡♡♡

性勝負による犯罪が多いから、この時代の警察は玩具の装備が義務化されてるんだよねっ♡

「あああああああっ♡♡♡」

ぷしゃあああっ♡と潮を撒き散らす私。けど警官は容赦なく特殊^{バ イ ブ}警棒をぐりぐりしてくるっ♡

イキながら膣奥ぐりぐりされるなんてっ♡ 耐えられる女の子いないっ♡♡

あああ……っ♡♡ またイク……っ♡♡♡ イクのとまらない……♡♡♡

「みっちりお仕置きしてやるからな！ 覚悟しておけ！」

「ひゃ、ひゃい……♡ んひiiiiiiiiっ！？♡♡♡」

その後、私は意識を失うほどお仕置きされてしまうのだった。

ゲームオーバー 0 1

『現行犯逮捕』

・最初から

[→1へ](#)

【 1 5 】

体験版では読めません。

【 1 6 】

体験版では読めません。

【 1 7 】

「ええい、こうなったらバトル！」

相手が警官だろうが知るもんか！
襲い掛かってくるなら性勝負で撃退するのみ！

「貴様！ 抵抗するつもりか！」

私が性勝負を仕掛けるつもりであることを見抜き、ズボンを下ろす警官。
ガチガチの警棒があらわとなった。これは強敵だ……。

「大人しくしろ！！」
「うわっ！！」

【世風：理性90】 -10

呆然としていた私に向かって警官が腰を突き出す。
間一髪かわしたけど危なかった……。

よし！ 今度はこっちの番だ！

【世風：理性90】

・騎乗位を仕掛ける

[→24へ](#)

・手コキを仕掛ける

[→23へ](#)

【 1 8 】

「ええい、こうなったらバトル！」

相手が警官だろうが知るもんか！

襲い掛かってくるなら性勝負で撃退するのみ！

「貴様！ 抵抗するつもりか！」

私が性勝負を仕掛けるつもりであることを見抜き、ズボンを下ろす警官。
ガチガチの警棒があらわとなった。これは強敵だ……。

【世風：理性90】

・ 騎乗位を仕掛ける

[→24へ](#)

・ 手コキを仕掛ける

[→23へ](#)

【 1 9 】

車道を挟んだ反対側には交番があった。
道が分からないならあそこで聞けばいいんだ！
私って天才！

でも交番の前で立っている警官。
さっきからずっとこっちを見ているような……？

・嫌な予感がするので逃げる
→20へ（体験版では選べません）

・交番へ行く
[→11へ](#)

【 2 0 】

体験版では読めません。

【 2 1 】

体験版では読めません。

【 2 2 】

体験版では読めません。

【 2 3 】

あんなガチガチ警棒を膣内に入れたら大ダメージ受けちゃう！
そう思った私は警官の背後へ回り、手コキ攻撃を仕掛けようとする。
が。

「馬鹿め！ 警察を舐めるなよッ！！」
「わわっ！？」

腕を取られ、私はあっさり捕まってしまった。
うう。訓練されてるだけあってすごい体術だ。

「フッフッフ、捕まえたぞ！」

動こうとすると腕を捻られてしまう。いたた……。

あれ？
これ、ひょっとして……もうおしまい？

[→14へ](#)

【 2 4 】

相手は警官。体術勝負に持ち込まれたら勝ち目はない。
でも寝技（性的）だったらこっちにだって自信はある！
私はリスク承知で挿入戦を選択した。

真っ向から警官へ飛びかかり、そして押し倒す。

相手もいきなり騎乗位を仕掛けてくるとは思ってたらしく不意を突かれたようだった。

今がチャンスだ！

「……んっ♡」

【世風：理性70】 -20

くっ♡ 見た目通りガチガチ♡ 石みたいに硬い♡♡
でも挿入に持ち込めればこっちのもんよ♡
さあ次はどうしよう。

・ガンガン腰を振る

→25へ（体験版では選べません）

・ひとまず様子見

→26へ

【 2 5 】

体験版では読めません。

【26】

ここはひとまず様子を見よう。
ガチガチおちんちんを挿入したせいでこっちもダメージを受けている。
下手に動けば致命傷になりかねない。

「き、貴様あ～～！ 公務執行妨害だぞお～～～！！」

そうこうしてたら冷静さを取り戻した警官がこっちの腰を掴んできた。
あ、あれ？ 掴まれちゃったらヤバくない？

「正義の鉄槌！！」
「はややっ！？♡♡」

【世風：理性40】 -30 *CRITICAL!!*

あっ♡ これマズいっ♡
掴まれてオナホみたいに動かされちゃうっ♡♡ 逃げなきゃ終わるっ♡
逃げられないっ♡♡♡

「どうした！ 降参かっ！？ ふんふんっ！！」

しっ♡ 下から突き上げられるっ♡ もうだめっ♡
これ勝てないっ♡♡

【世風：理性0】 -40 *FINISH!!*

「こ、降参でしゅう……♡♡♡」

絶頂しながら情けない声で言う私。
すると挿入されていたおちんちんが引き抜かれた。
ゆ、許してもらえた……？

